

2020年7月8日  
産業調査部

# 商工中金景況調査

## 2020年6月調査結果



1. 目的・調査事項	<ul style="list-style-type: none"><li>●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握</li><li>●調査事項<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 景況感 今月及び先行き</li><li>(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き</li><li>(3) トピックス（新型コロナウイルス感染症の経営への影響）</li></ul></li></ul>
2. 回答期間・調査頻度	<ul style="list-style-type: none"><li>●回答期間 2020年6月8日～24日（本件が第2回調査）</li><li>●調査頻度 四半期毎（当面）</li></ul>
3. 対象企業	当金庫取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数1,247社 （アンケート依頼数3,220社、回答率38.7%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 産業調査部 織田 百武（TEL：03-3246-9370）

# 調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比 (%)			回答企業数	構成比 (%)
<b>製造業</b>		543	43.5	<b>非製造業</b>		704	56.5
	食料品	41	3.3		建設業	44	3.5
	化学	45	3.6		卸売業	218	17.5
	鉄・非鉄	45	3.6		小売業	96	7.7
	印刷業	33	2.6		運輸業	226	18.1
	金属製品	99	7.9		その他非製造業	120	9.6
	はん用、生産用、業務用機械	81	6.5	/			
	電気機器	40	3.2				
	輸送用機器	48	3.8				
	その他製造業	111	8.9				
<b>全産業</b>						1,247	100.0

(注) 各項目の構成比は四捨五入の関係で100%とならない場合がある。

# 目次

<b>1. 景況感</b>	前回調査から大幅に悪化、先行きも悲観的	4
◆取引先の声（景況感別）		6
<b>2. 業況判断</b>	全業種で売上減少、製造業で雇用過剰に	11
<b>3. 新型コロナウイルス感染症の経営への影響</b>		18
<b>3-1. 売上（2020年5月）</b>	約85%が前年割れ、1-2割減が最多	19
◆取引先の声（売上が減少した先、増加した先）		21
<b>3-2. 売上減少の要因</b>	生産停止や自粛、新たな生活様式が売上を直撃	23
<b>3-3. 経営上の対策</b>	資金調達に加えテレワークや非対面取引が進む	28
◆取引先の声（経営上の対策）		33

# 1. 景況感

前回調査から大幅に悪化、先行きも悲観的

## 6月の景況判断指数は20.4と前回から大幅に悪化

### 先行きの景況感は29.3と低く、過半数の企業が引き続き「悪化」と回答

今月の景況判断指数（全産業）は20.4

先行きの景況判断指数は29.3

（今月比+8.9ポイント）

- 6月・・・「好転」7.7%、「不変」25.3%  
「悪化」66.9%。
- 先行き・・・「好転」12.2%、「不変」34.2%  
「悪化」は53.5%。

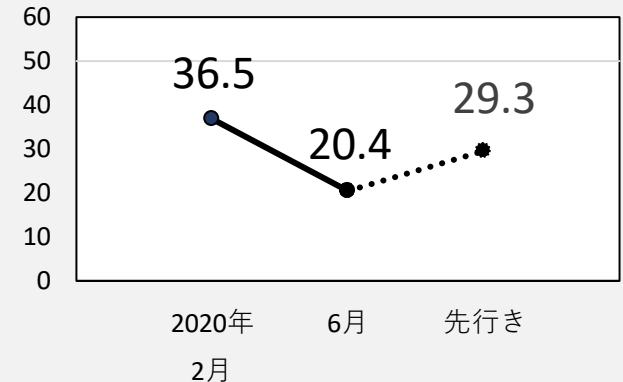
注1) 景況判断指数の算出式

景況判断指数 = ( (好転企業数 × 1 + 不変企業数 × 0.5 + 悪化企業数 × 0) ÷ 当該設問への回答企業数 ) × 100

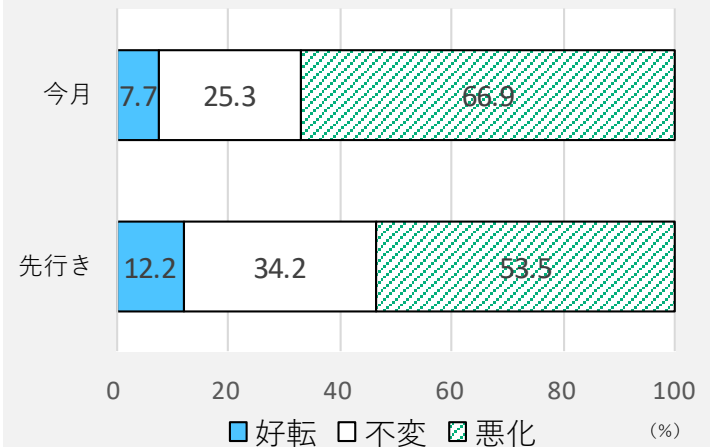
指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≤ 景況判断指数 ≤ 100.0

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢 = 「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。

景況判断指数（全産業）



景況判断指数（全産業）の回答割合



## 取引先の声（抜粋）＜今月の景況感別＞

### 景況感 好転

通販関連の家庭用品の卸を主体に活動しています。今現在の売上は昨年より増えていますが、秋口からのコロナの第2波及び不景気が襲ってくる状況で先行きが不安です。（陶磁器卸売業、東京）

自動車関連の売上は減少しているが、アルコール用の売上が好調なため、前年比100%を維持できている。（ステンレスドラム製造業、大阪）

### 景況感 不変

現在のところ売り上げが減少していないが、これから市場が動き始めた時、困窮している業者が受注するために価格のたたき合いになり、採算や販売価格の低下・下落が進まないか懸念される（管工事業、青森）

### 景況感 悪化

建物サービス業を営む関係上、規制やインバウンドに関わる取引先（ホテル、娯楽施設、商業施設等）に関しては、休館・契約見直し・解約等が発生しており今後の受注に関して不透明である。弊社7割強の売上である居住に関わる受注に関しては衛生管理の観点からほぼ影響は出ていないが、一部業務の延期や中止が発生した。（建物サービス業、東京）

（注）文意を損なわない範囲で一部表現を変更している場合があります

<2020年6月の景況感>

食料品は前回調査からほぼ横ばい

電気機器、印刷、その他非製造業は前回調査から低下幅が大きい

業種名	2月	今月	(今月-2月)	先行き	回答数(今月)
全産業	36.5	<b>20.4</b>	▲ 16.1	29.3	( 1,243 )
製造業	34.1	<b>18.3</b>	▲ 15.8	28.3	( 542 )
非製造業	38.4	<b>22.0</b>	▲ 16.4	30.2	( 701 )
食料品	33.3	<b>34.1</b>	0.8	43.9	( 41 )
化学	40.0	<b>29.5</b>	▲ 10.5	32.2	( 44 )
鉄・非鉄	19.6	<b>11.1</b>	▲ 8.5	23.3	( 45 )
印刷業	38.0	<b>13.6</b>	▲ 24.4	27.3	( 33 )
金属製品	32.3	<b>13.6</b>	▲ 18.7	26.3	( 99 )
はん用、生産用、業務用機械	35.2	<b>19.8</b>	▲ 15.4	25.9	( 81 )
電気機器	48.1	<b>16.3</b>	▲ 31.8	20.0	( 40 )
輸送用機器	33.3	<b>12.5</b>	▲ 20.8	40.6	( 48 )
その他製造業	32.5	<b>18.5</b>	▲ 14.0	24.3	( 111 )
建設業	48.4	<b>31.8</b>	▲ 16.6	37.5	( 44 )
卸売業	35.6	<b>20.9</b>	▲ 14.7	26.6	( 218 )
小売業	39.5	<b>34.7</b>	▲ 4.8	35.1	( 95 )
運輸業	35.5	<b>17.1</b>	▲ 18.4	27.9	( 225 )
その他非製造業	44.0	<b>19.7</b>	▲ 24.3	34.5	( 119 )

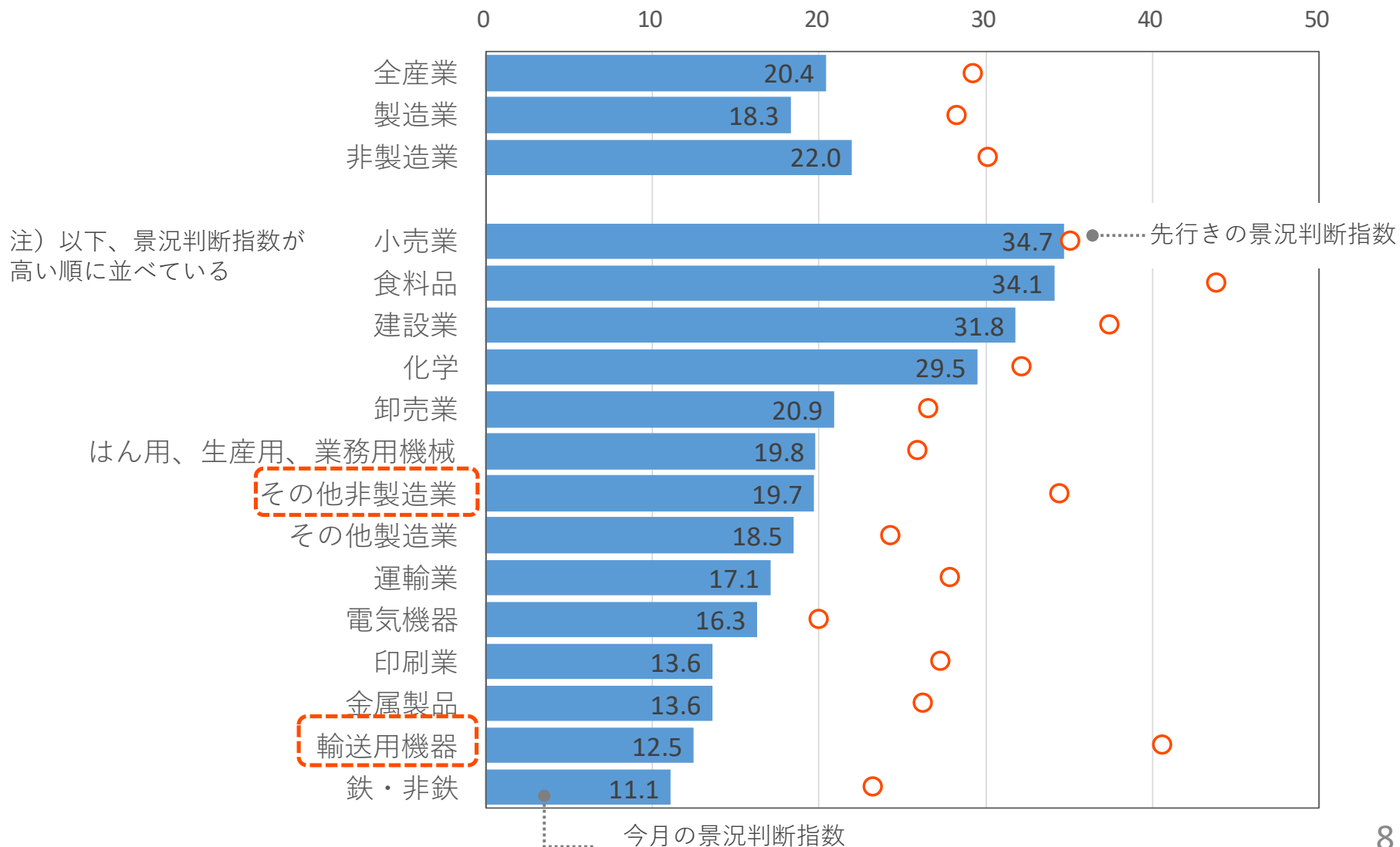
(注) その他製造業は 紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品、その他製造業を含む

その他非製造業は 飲食・宿泊業、情報通信業、不動産・物品賃貸業、サービス業を含む



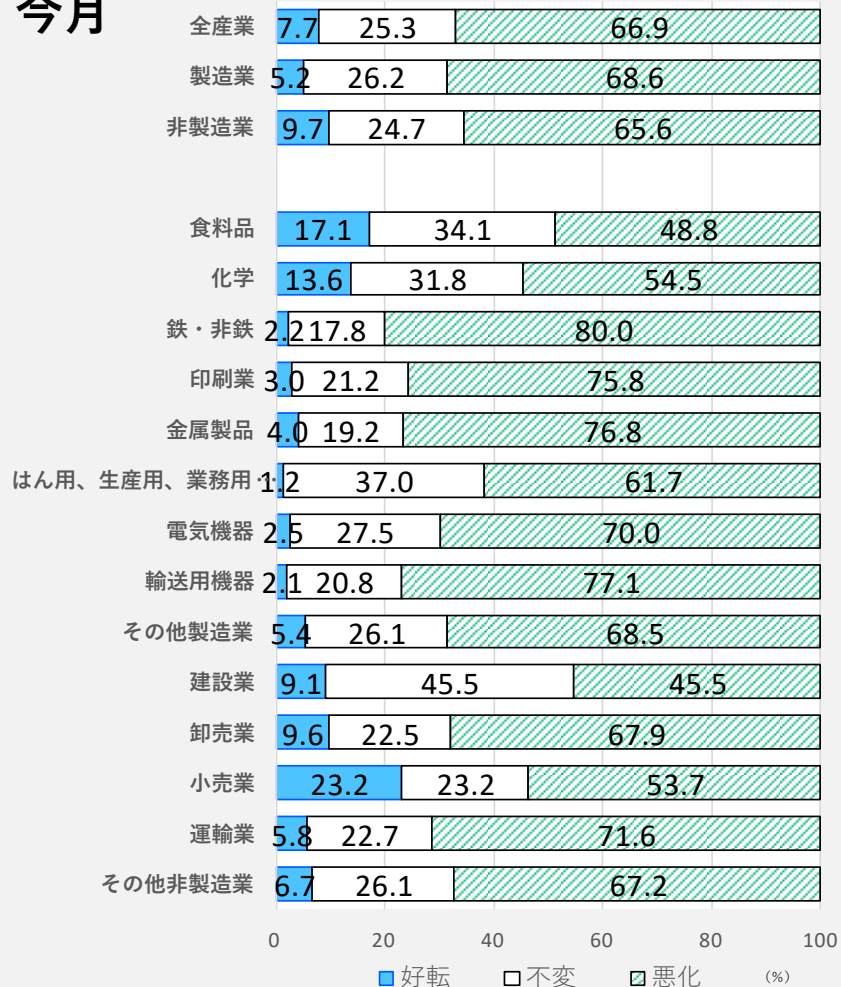
<2020年6月の景況感>

# 飲食宿泊、輸送用機器は、緊急事態宣言の解除や生産活動再開から 景況感は先行き不透明ながらも底入れの期待

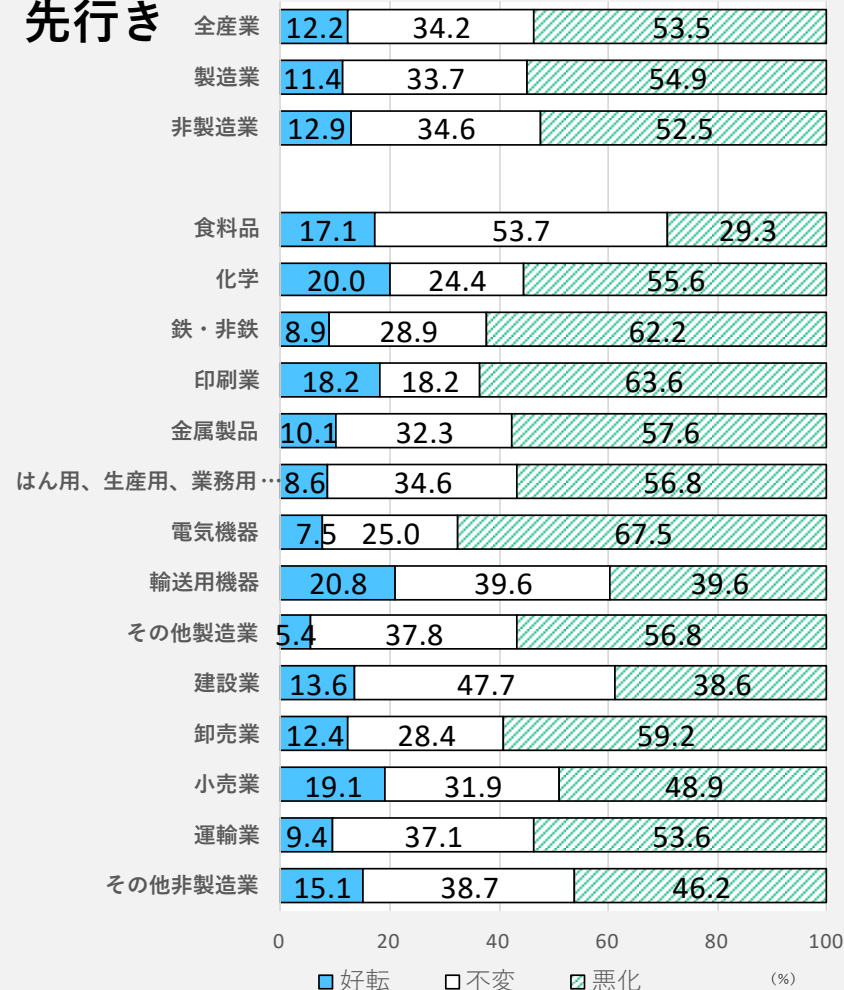


# 先行きは食料品、輸送用機器、建設業等を除く多くの業種で、過半数の企業が引き続き「悪化」と回答

## 今月



## 先行き



## 取引先の声（抜粋）

### ●景況判断指数が高い業種

#### 小売業（今月の景況感34.7 以下同）

4月を底に徐々に回復してきている。ただ、100%回復までには時間がかかりそうな気配。新製品との兼ね合いもあり、長期での先行きはまったく読めない状況。（神戸）

#### 食料品（34.1）

業種がら（日配品）業績は好調です。とはいえ、生産機械類が新しくなったわけではありませんので、人海戦術で対応しています。人員ひっ迫につき、生産量の限界点が近づいています。（長野）

#### 建設業（31.8）

新型コロナウイルスの影響により、弊社が雇用のターゲットとする専門技術者が多少転職市場に流れるのではという期待がある。（神奈川）

### ●景況判断指数が低い業種

#### 鉄・非鉄（11.1）

新型コロナウイルス禍以前から、米中の貿易戦争でロボット、FA関係の出荷減少により細径ケーブルの需要低迷が続いていた。今回のコロナウイルスでダブルパンチの状況にある。（埼玉）

#### 輸送用機器（12.5）

自動車部品製造業界は、マスコミで既報の旅行業や飲食業、イベント業の売上（受注）減少に遅れて追従しており、回復の動きも鈍く、先行き見通しが不可視である事が不安です。（静岡）

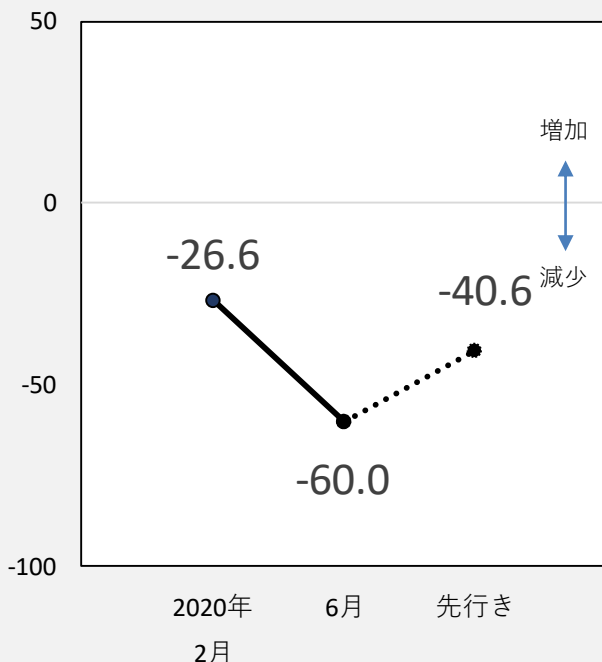
（注）文意を損なわない範囲で一部表現を変更している場合があります

## 2. 業況判断

全業種で売上減少、製造業で雇用過剰に

# 売上は全業種で減少、特に製造業の減少が目立つ

売上DI（全産業）

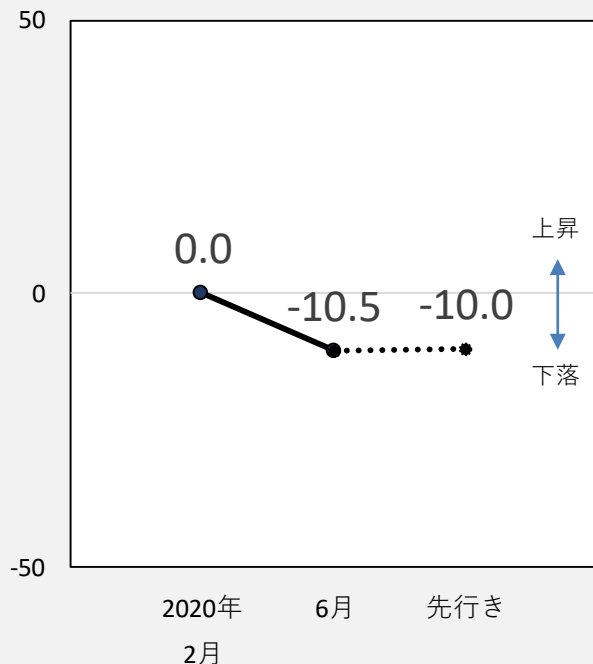


2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	▲ 26.6	▲ 60.0	▲ 40.6
製造業	▲ 30.9	▲ 65.1	▲ 41.1
非製造業	▲ 23.1	▲ 56.0	▲ 40.1

食料品	▲ 36.7	▲ 41.5	▲ 12.2
化学	▲ 28.6	▲ 37.8	▲ 35.6
鉄・非鉄	▲ 53.6	▲ 75.6	▲ 53.3
印刷業	▲ 28.0	▲ 75.8	▲ 51.5
金属製品	▲ 28.0	▲ 77.6	▲ 45.9
はん用、生産用、業務用機械	▲ 21.9	▲ 60.5	▲ 40.7
電気機器	▲ 11.5	▲ 72.5	▲ 50.0
輸送用機器	▲ 25.8	▲ 72.9	▲ 14.6
その他製造業	▲ 41.3	▲ 64.0	▲ 50.5
建設業	6.3	▲ 34.1	▲ 18.2
卸売業	▲ 30.4	▲ 60.1	▲ 50.0
小売業	▲ 28.1	▲ 35.8	▲ 27.4
運輸業	▲ 23.6	▲ 64.1	▲ 48.0
その他非製造業	▲ 17.6	▲ 57.5	▲ 25.8

# 販売価格は下落に転じ、先行きも引き続き下落

販売価格DI（全産業）

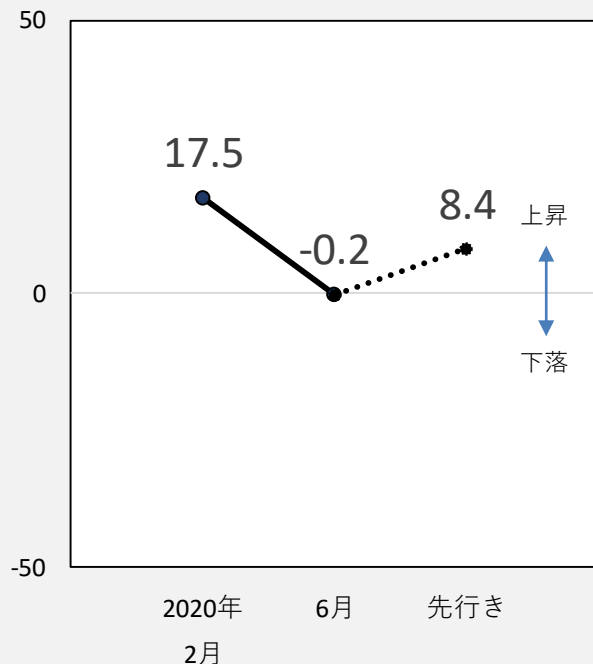


2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	0.0	▲ 10.5	▲ 10.0
製造業	▲ 2.5	▲ 9.8	▲ 11.3
非製造業	2.0	▲ 11.0	▲ 9.0

食料品	10.0	▲ 12.2	▲ 14.6
化学	0.0	▲ 8.9	▲ 13.3
鉄・非鉄	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.6
印刷業	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 12.1
金属製品	▲ 3.7	▲ 9.2	▲ 11.2
はん用、生産用、業務用機械	0.0	▲ 3.7	▲ 7.5
電気機器	▲ 11.5	▲ 10.0	▲ 15.0
輸送用機器	0.0	▲ 4.2	▲ 4.2
その他製造業	0.0	▲ 11.8	▲ 11.8
建設業	▲ 3.1	▲ 6.8	▲ 6.8
卸売業	▲ 8.7	▲ 9.7	▲ 13.8
小売業	▲ 3.5	▲ 9.6	0.0
運輸業	10.6	▲ 9.6	▲ 11.1
その他非製造業	9.9	▲ 18.6	▲ 4.2

# 仕入価格は製造業で上昇、非製造業で下落 先行きは全産業で上昇

仕入価格DI (全産業)

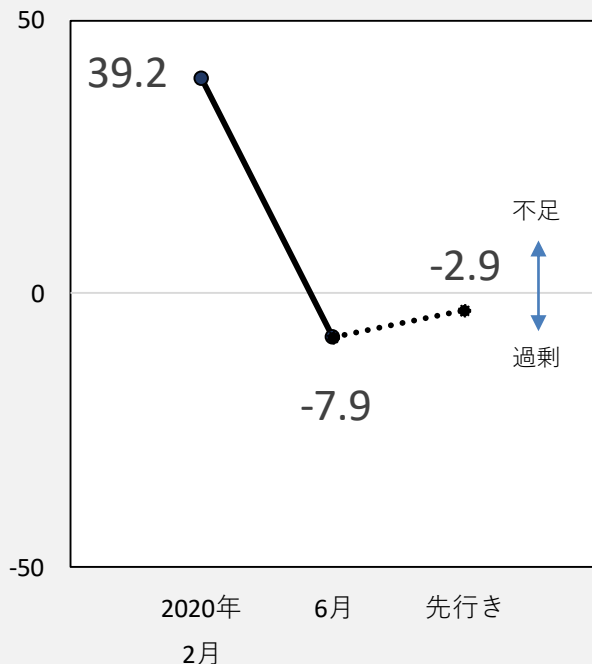


2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	17.5	▲ 0.2	8.4
製造業	14.8	1.3	6.9
非製造業	19.6	▲ 1.3	9.5

食料品	26.7	2.4	14.6
化学	8.6	6.7	▲ 2.2
鉄・非鉄	0.0	▲ 4.5	11.6
印刷業	16.0	0.0	9.1
金属製品	20.7	0.0	8.2
はん用、生産用、業務用機械	15.9	1.2	7.6
電気機器	28.0	0.0	12.5
輸送用機器	9.7	0.0	2.1
その他製造業	8.9	3.6	3.6
建設業	25.0	4.5	18.2
卸売業	7.4	0.5	2.3
小売業	15.8	7.4	10.6
運輸業	30.4	▲ 13.5	15.4
その他非製造業	20.9	7.6	8.5

# 雇用状況は製造業で過剰に転じ、先行きも過剰

雇用状況DI（全産業）



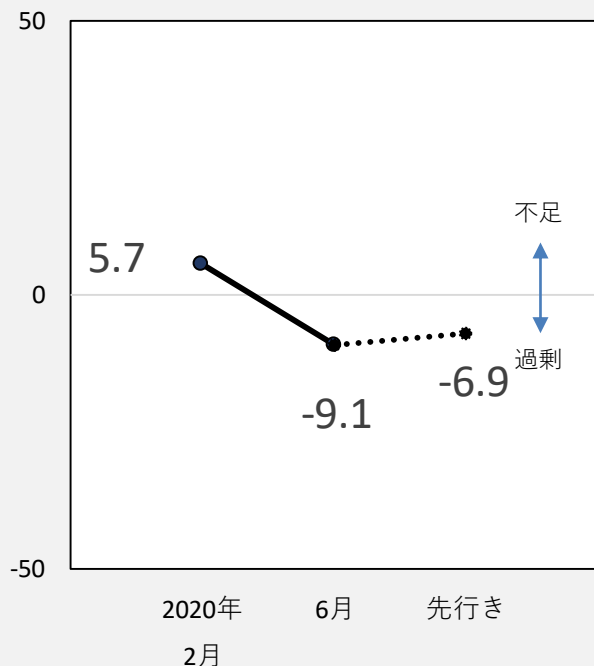
2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	39.2	▲ 7.9	▲ 2.9
製造業	24.1	▲ 23.6	▲ 20.7
非製造業	51.3	4.3	10.9

食料品	43.3	▲ 2.4	▲ 2.4
化学	28.6	▲ 4.4	2.2
鉄・非鉄	10.7	▲ 24.4	▲ 26.7
印刷業	24.0	▲ 12.1	▲ 9.1
金属製品	20.7	▲ 31.6	▲ 24.5
はん用、生産用、業務用機械	22.2	▲ 22.2	▲ 21.0
電気機器	15.4	▲ 22.5	▲ 35.0
輸送用機器	16.7	▲ 64.6	▲ 47.9
その他製造業	30.4	▲ 18.9	▲ 17.4
建設業	46.9	15.9	20.5
卸売業	28.2	▲ 5.5	1.4
小売業	52.6	16.0	18.1
運輸業	67.7	14.3	22.1
その他非製造業	60.4	▲ 10.0	▲ 1.7



# 生産・営業用設備は、一部の業種を除き過剰に転じる

生産・営業用設備DI  
(全産業)

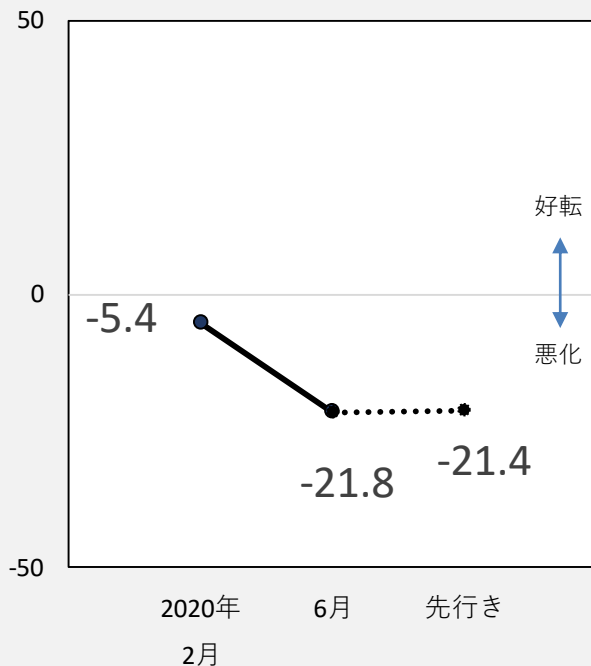


2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	5.7	▲ 9.1	▲ 6.9
製造業	5.0	▲ 15.0	▲ 11.7
非製造業	6.3	▲ 4.4	▲ 3.1

食料品	10.0	7.3	9.8
化学	8.6	4.4	4.4
鉄・非鉄	3.6	▲ 20.0	▲ 17.8
印刷業	8.0	▲ 18.2	▲ 15.2
金属製品	2.4	▲ 24.5	▲ 19.4
はん用、生産用、業務用機械	7.9	▲ 14.8	▲ 7.5
電気機器	0.0	▲ 10.0	▲ 12.5
輸送用機器	9.7	▲ 48.9	▲ 34.0
その他製造業	1.3	▲ 7.2	▲ 9.0
建設業	9.4	6.8	4.5
卸売業	2.7	▲ 3.7	▲ 4.2
小売業	0.0	8.6	9.7
運輸業	10.4	▲ 7.5	▲ 5.7
その他非製造業	7.8	▲ 14.5	▲ 9.4

# 資金繰りは悪化が強まり、先行きも引き続き悪化

資金繰りDI (全産業)



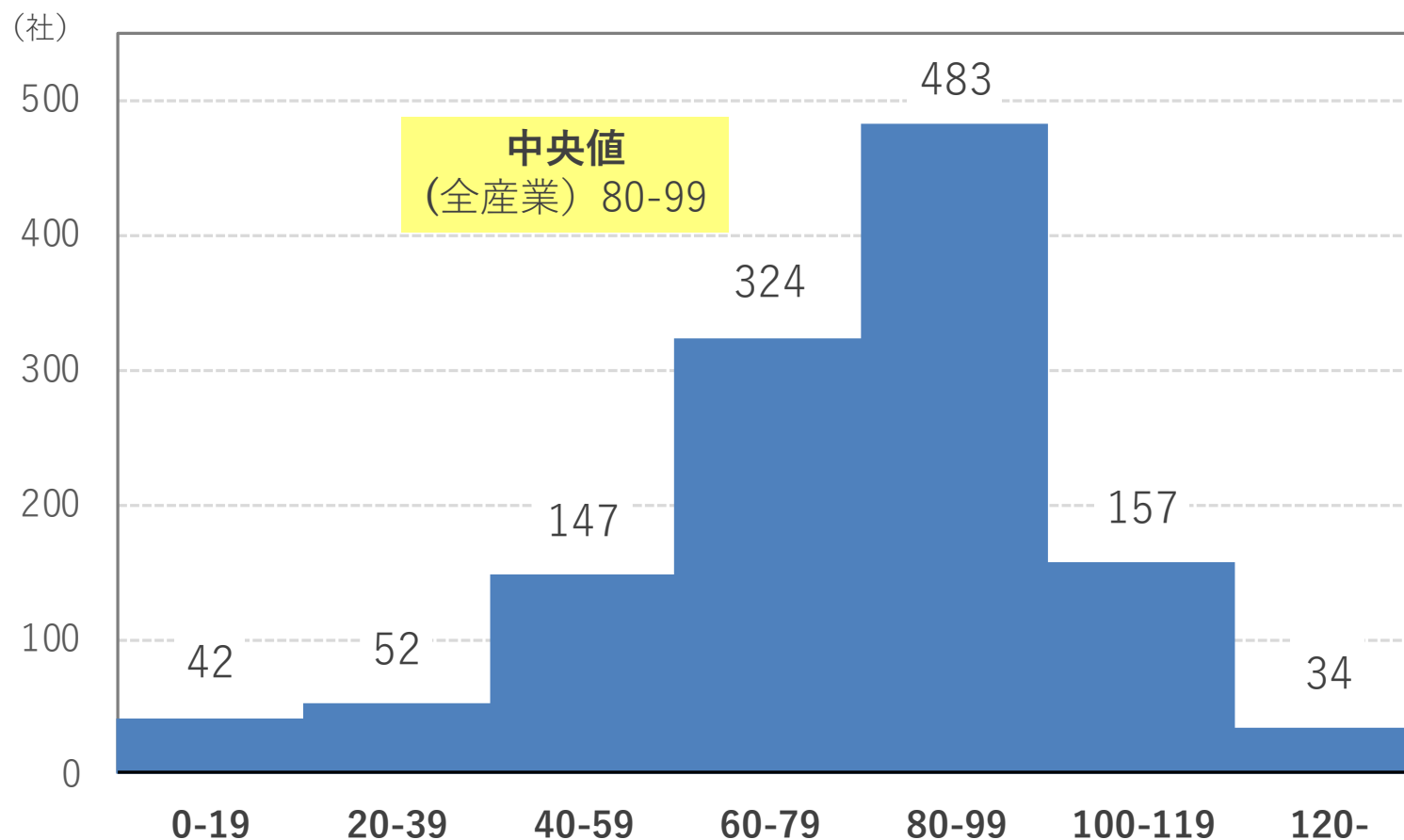
2020年	前回	今月	先行き
	2月	6月	7~9月
全産業	▲ 5.4	▲ 21.8	▲ 21.4
製造業	▲ 9.3	▲ 24.9	▲ 25.5
非製造業	▲ 2.2	▲ 19.5	▲ 18.3

食料品	▲ 10.0	▲ 9.8	▲ 9.8
化学	▲ 2.9	▲ 13.6	▲ 25.0
鉄・非鉄	▲ 14.3	▲ 36.4	▲ 25.0
印刷業	▲ 8.0	▲ 33.3	▲ 24.2
金属製品	▲ 4.9	▲ 27.6	▲ 30.6
はん用、生産用、業務用機械	▲ 11.3	▲ 19.8	▲ 21.0
電気機器	▲ 7.7	▲ 15.0	▲ 23.1
輸送用機器	▲ 22.6	▲ 55.3	▲ 36.2
その他製造業	▲ 8.9	▲ 19.8	▲ 27.0
建設業	18.8	2.3	▲ 4.5
卸売業	1.3	▲ 15.6	▲ 17.9
小売業	▲ 5.3	▲ 9.7	▲ 5.3
運輸業	▲ 4.8	▲ 25.1	▲ 25.7
その他非製造業	▲ 8.8	▲ 31.7	▲ 20.8

# 3. 新型コロナウイルス感染症の 経営への影響

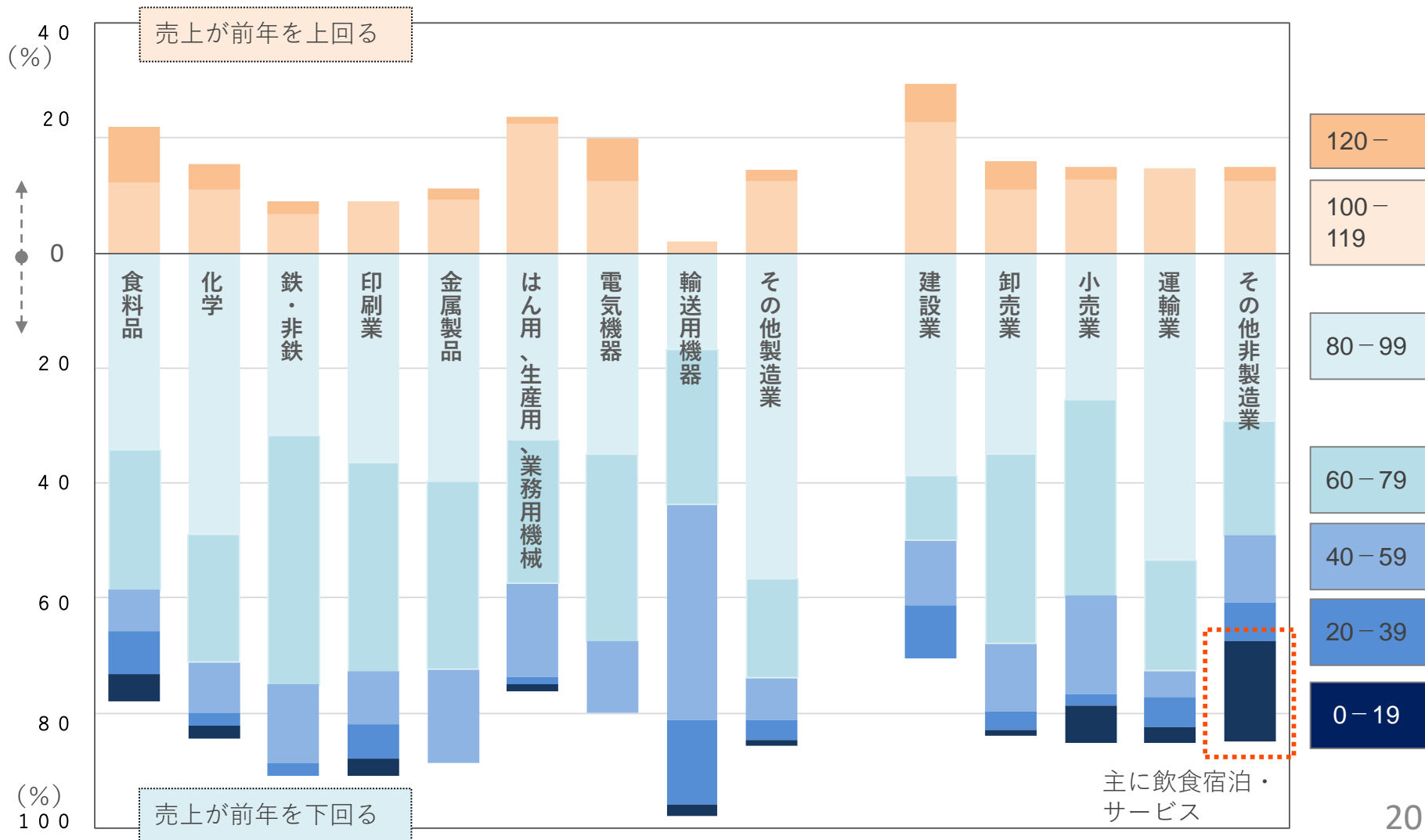
<今月のトピックス 新型コロナウイルス感染症の経営への影響>  
【売上】約85%が前年割れ、1~2割減が最多

■前年同月を「100」としたとき、今年（2020年）5月のおおよその売上高（回答社数1,239）



# 【売上】最も売上の落ち込みが大きいのは、輸送用機器 建設業は、約3割が前年を上回る

■（業種別）前年同月を「100」としたとき、今年（2020年）5月のおおよその売上高



## 取引先の声（抜粋）＜売上が減少した企業＞

### キーワード／生産停止、減産、自動車

コロナウイルスの影響にて**自動車関連の工場生産停止**等により、車両の運搬・車両の架装業務の売り上げが大幅に減少している。

（仙台、運輸業）

**地域柄、自動車関連**の落ち込みに影響を受けやすい。特に近年の自動車産業は、多岐にわたる産業の集積となっているため、コロナワクチンの開発が急がれ、通常に近い形を取り戻す必要がある。（プラスチック製品製造業、岐阜）

### キーワード／消費の縮小、買い控え

当社は物流業であり、新型コロナウイルス関連で各種イベント中止をはじめ活動自粛が長引くなか、一般消費者自体も**生活必需品以外**は買い控えしている状況から、取扱貨物の品種によっては荷動きが鈍化しているように感じている。（物流業、青森）

### キーワード／自粛・休業要請・緊急事態宣言

ホテルの稼働率低迷により、**ホテル**向けリネンサプライの売上は大幅に減少している。特にリゾートホテルの比率が大きい地方は、その影響が大きい。（リネンサプライ、東京）

**海外渡航制限**の緩和及び解除の時期（対中国、ベトナム）仕掛案件があり、完了の時期が見通せない。（自動包装機械製造、大阪）

### キーワード／新しい生活様式

ソーシャルディスタンスなどの**新しい生活様式**が定着すると、飲食業などは席数の減少から売上が恒常的に3割ほど減少する。それを補うには単価を1.5倍、もしくは、コストを3割減少させるしかない。

（旅館、福島）

（注）文意を損なわない範囲で一部表現を変更している場合があります

## 取引先の声（抜粋）＜売上が増加した企業＞

### キーワード／建設

**建設関連**は一部建設会社の新型コロナウイルスによる工事の中断があったが、弊社が取引している建設会社との大きな影響は感じられなかった。景況感については、建設関連は一般市況に対し遅れて影響がでてくる恐れがあるため、今後の景況感について細心の注意を払う必要があるものと感じている。（建機リース業、東京）

### キーワード／テレワーク

主要顧客が**通信機器製造関連・半導体製造機器**関連であるためか、受注に対するコロナウイルスの影響は、今のところ出ていない。中国や東南アジアで製造している一部の部品で入手しづらいものがあったが、それも6月に入り解消しつつある。（通信機器部品等製造、東京）

### キーワード／感染防止対策

弊社が取扱っているディスペンサーポンプは、新型コロナウイルスによる**アルコール消毒液**の需要拡大により、受注が拡大。当面は増収が続く見込み。（ポンプ製造、東京）

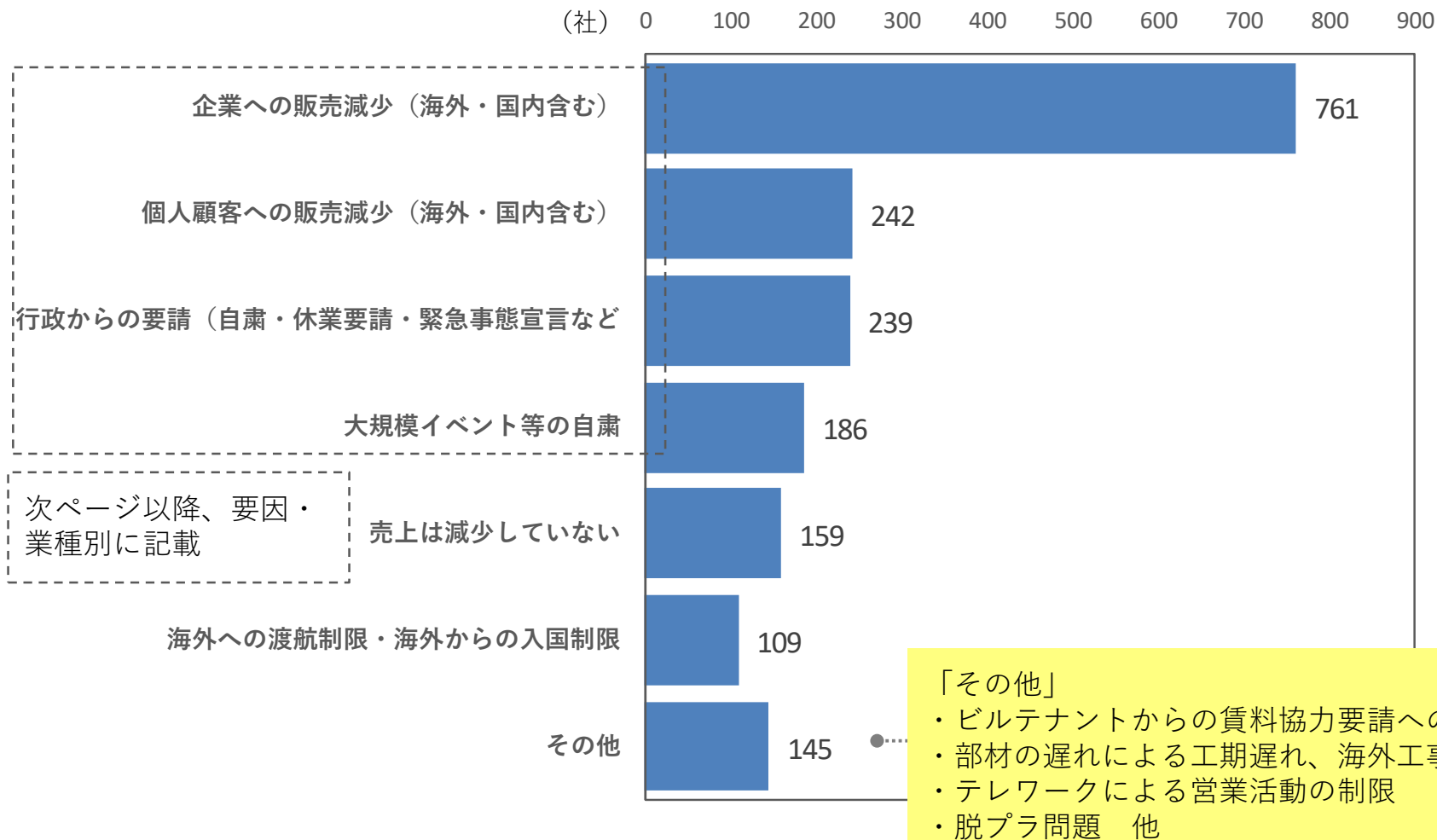
### キーワード／食品、日用品、通販、巣ごもり

主要販売先である全国の**生協**が外出自粛の影響により**宅配事業**が売上増加となったことから、当社も受注増加の影響を受けた。但し生協は**食品**を中心とした大量の受注に配送が追い付かなく、弊社の商品を含め生協の主力でない食品以外の商品はチラシから減らす等調整を行っている。（身の回り品卸売業、大阪）

（注）文意を損なわない範囲で一部表現を変更している場合があります

# 【売上減少の要因】 「企業への販売減少」が6割を占める

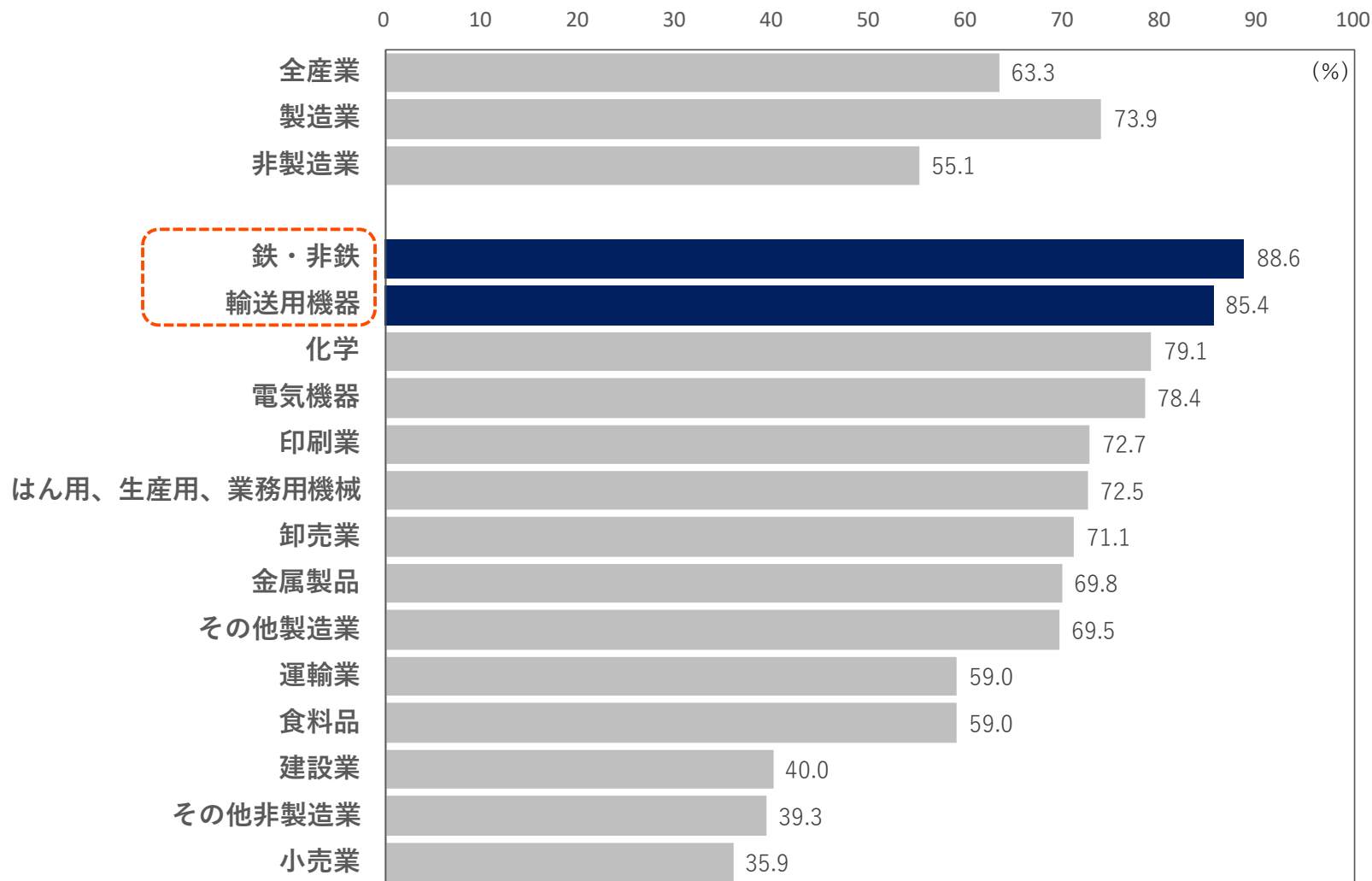
■売上減少の要因（複数回答、回答社数1,202）





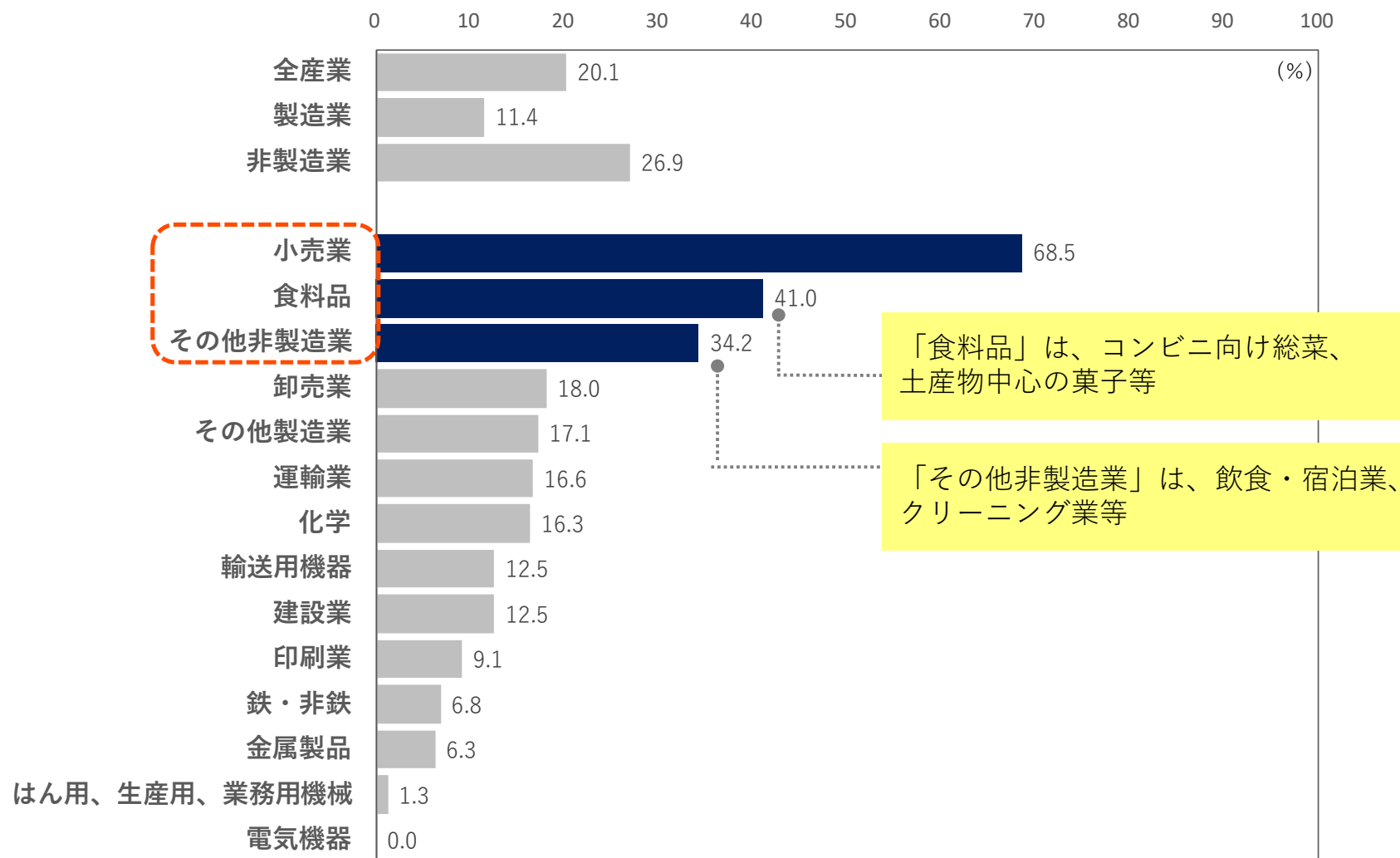
# 「企業への販売減少」は、輸送用機器と鉄・非鉄で約9割

■【売上減少の要因】「企業への販売減少（海外・国内含む）」の回答比率



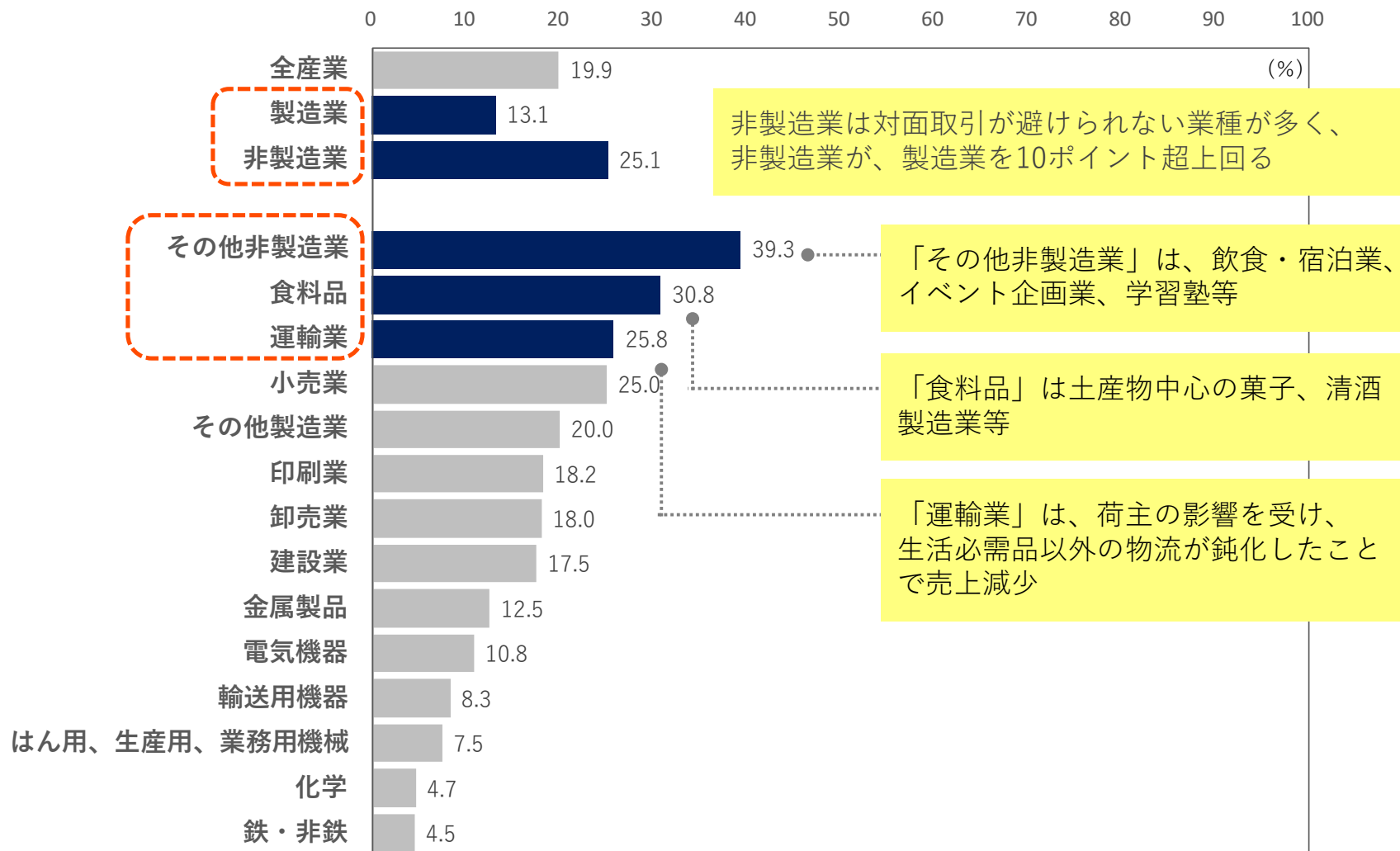
# 「個人客への販売減少」は、小売業で約7割

■ 【売上減少の要因】 「個人顧客への販売減少（海外・国内含む）」の回答比率



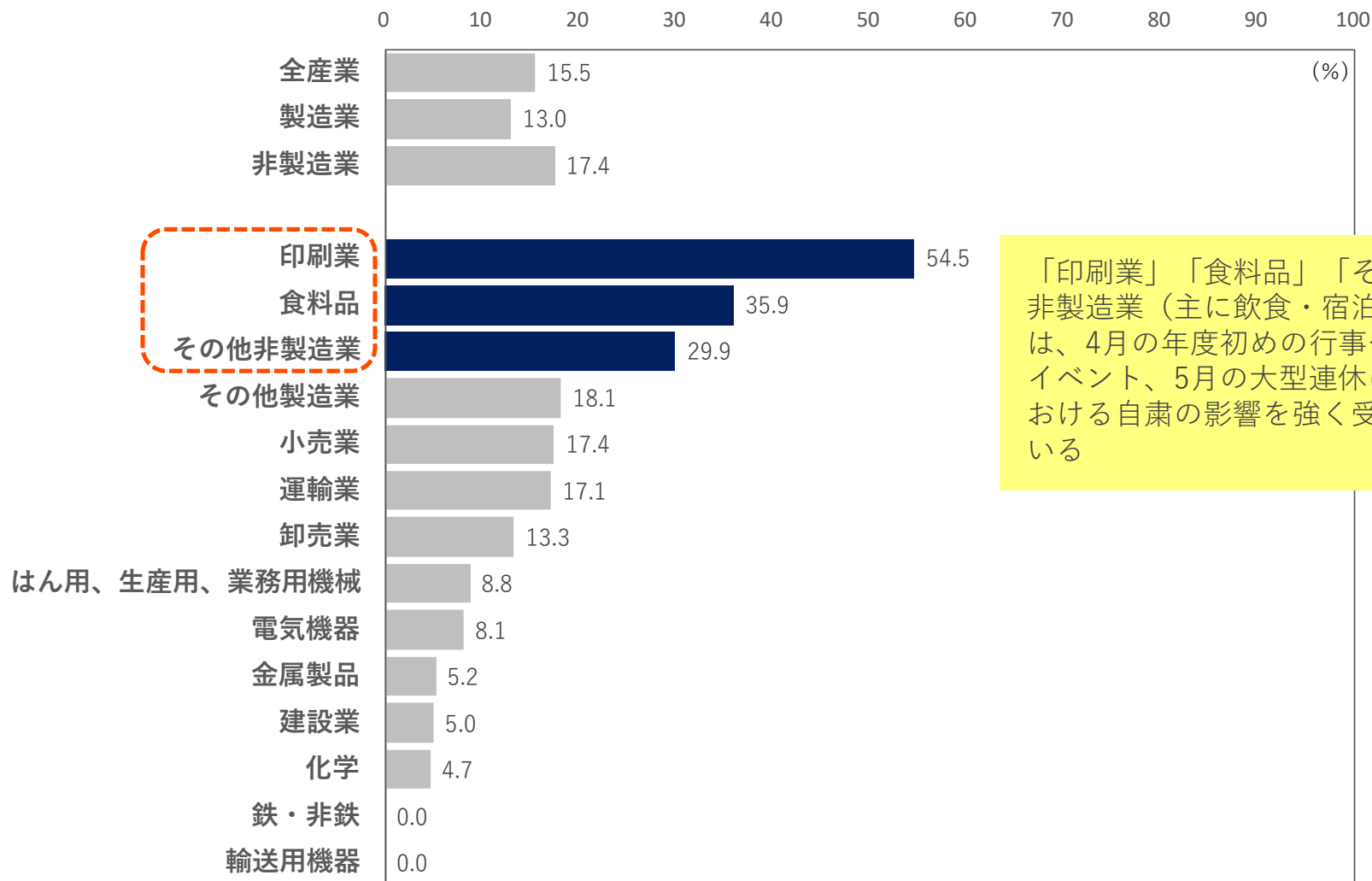
# 「自粛」の影響は、対面取引の多い非製造業でやや強い

■ 【売上減少の要因】 「行政からの要請（自粛・休業要請・緊急事態宣言など）」の回答比率



# 「大規模イベント等の自粛」の影響は、印刷業で5割超

## ■【売上減少の要因】 「大規模イベント等の自粛」の回答比率

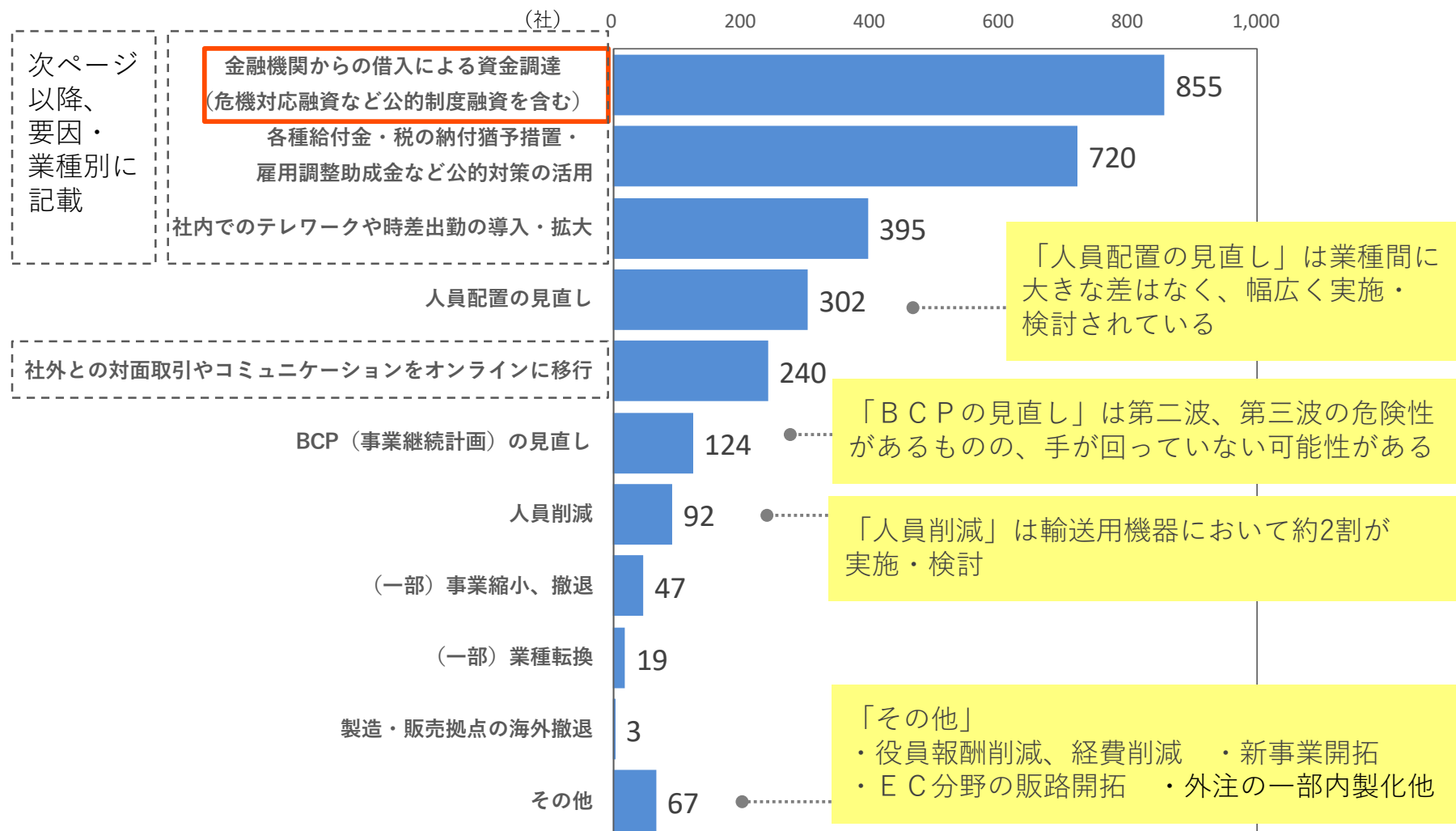


「印刷業」「食料品」「その他非製造業（主に飲食・宿泊）」は、4月の年度初めの行事やイベント、5月の大型連休における自粛の影響を強く受けている



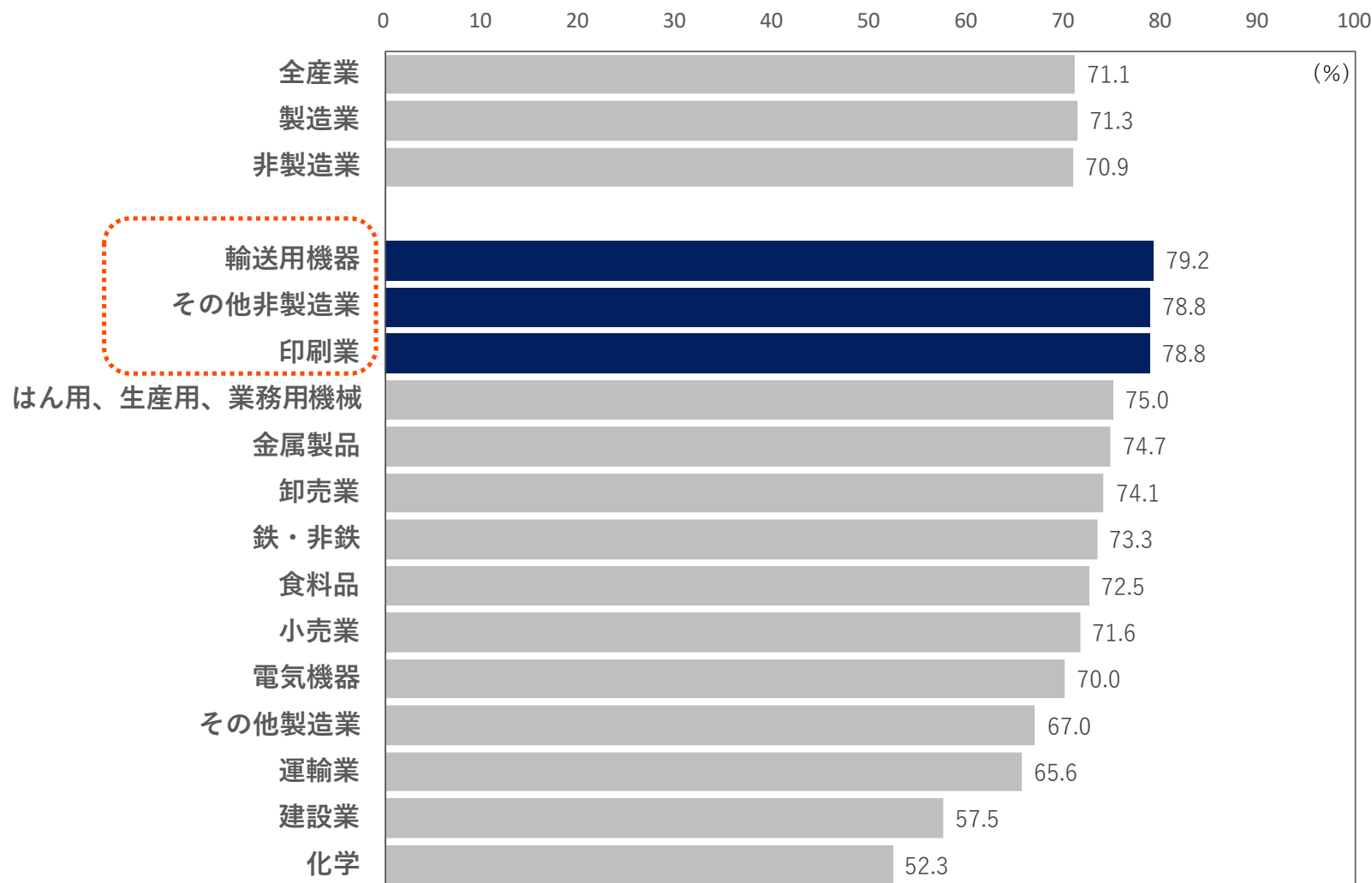
# 【経営上の対策】約7割の企業が「資金調達」を実施・検討

■ 経営上の対策として実施および検討しているもの（複数回答、回答社数1,203）



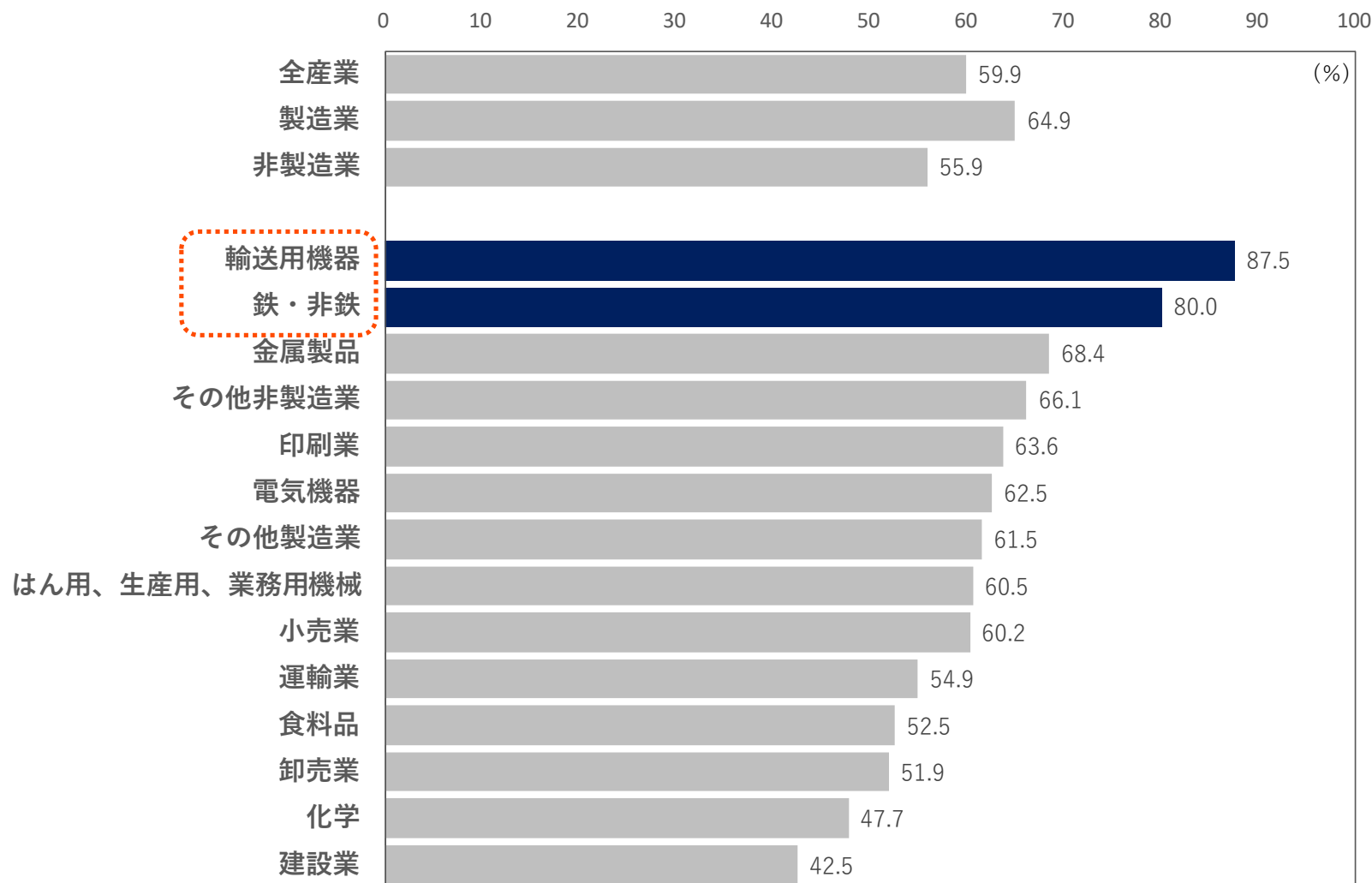
# 「資金調達」は、その他非製造業、輸送用機器、印刷業で約8割が実施・検討

## ■ 【経営上の対策】 「金融機関からの借入による資金調達」の回答比率



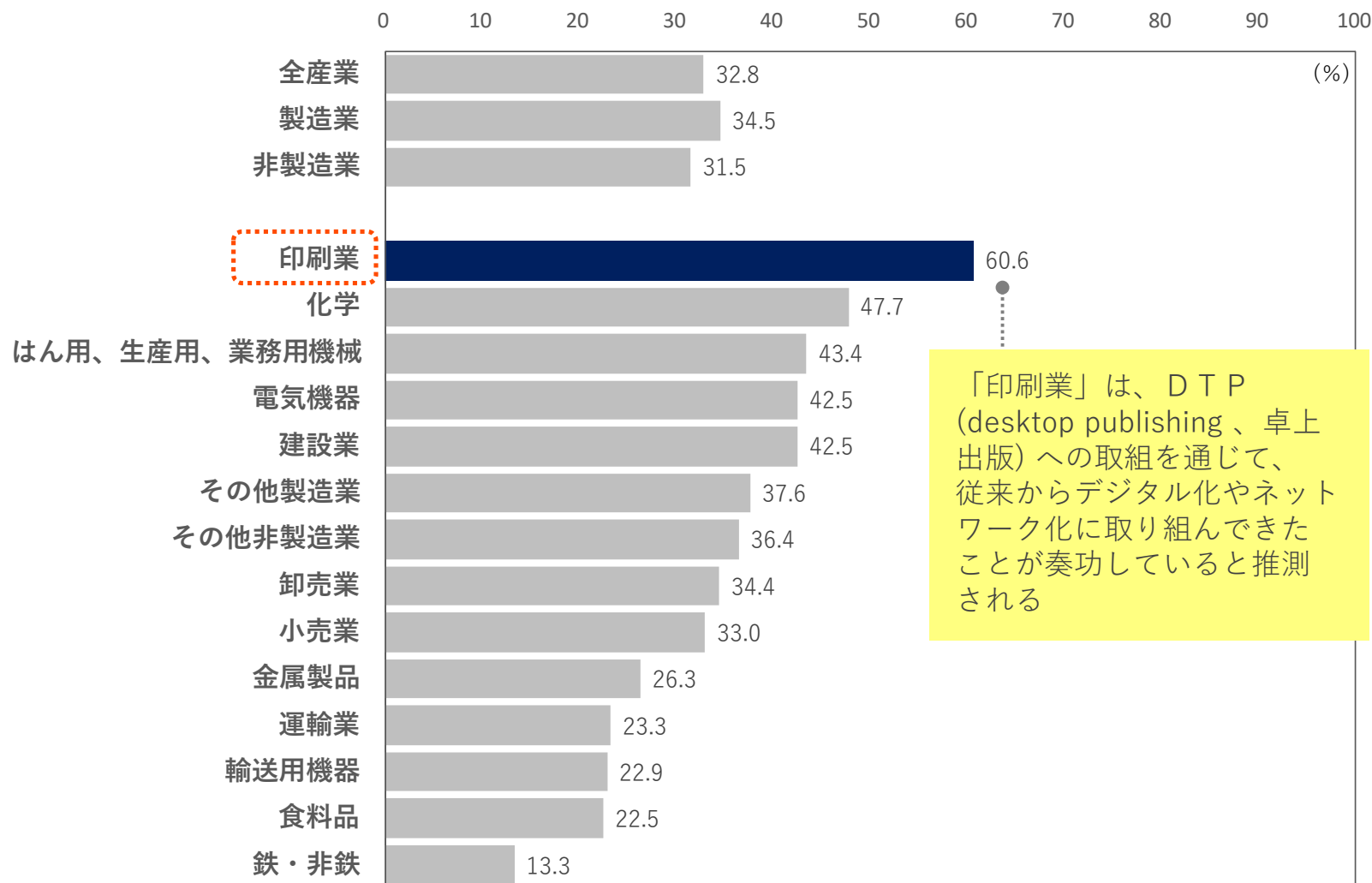
# 「公的対策」は、輸送用機器、鉄・非鉄で 約8割が実施・検討

■ 【経営上の対策】 「各種給付金・税の納付猶予措置・雇用調整助成金など公的対策の活用」の回答比率



# 「テレワーク・時差出勤」は、印刷業で約6割が実施・検討

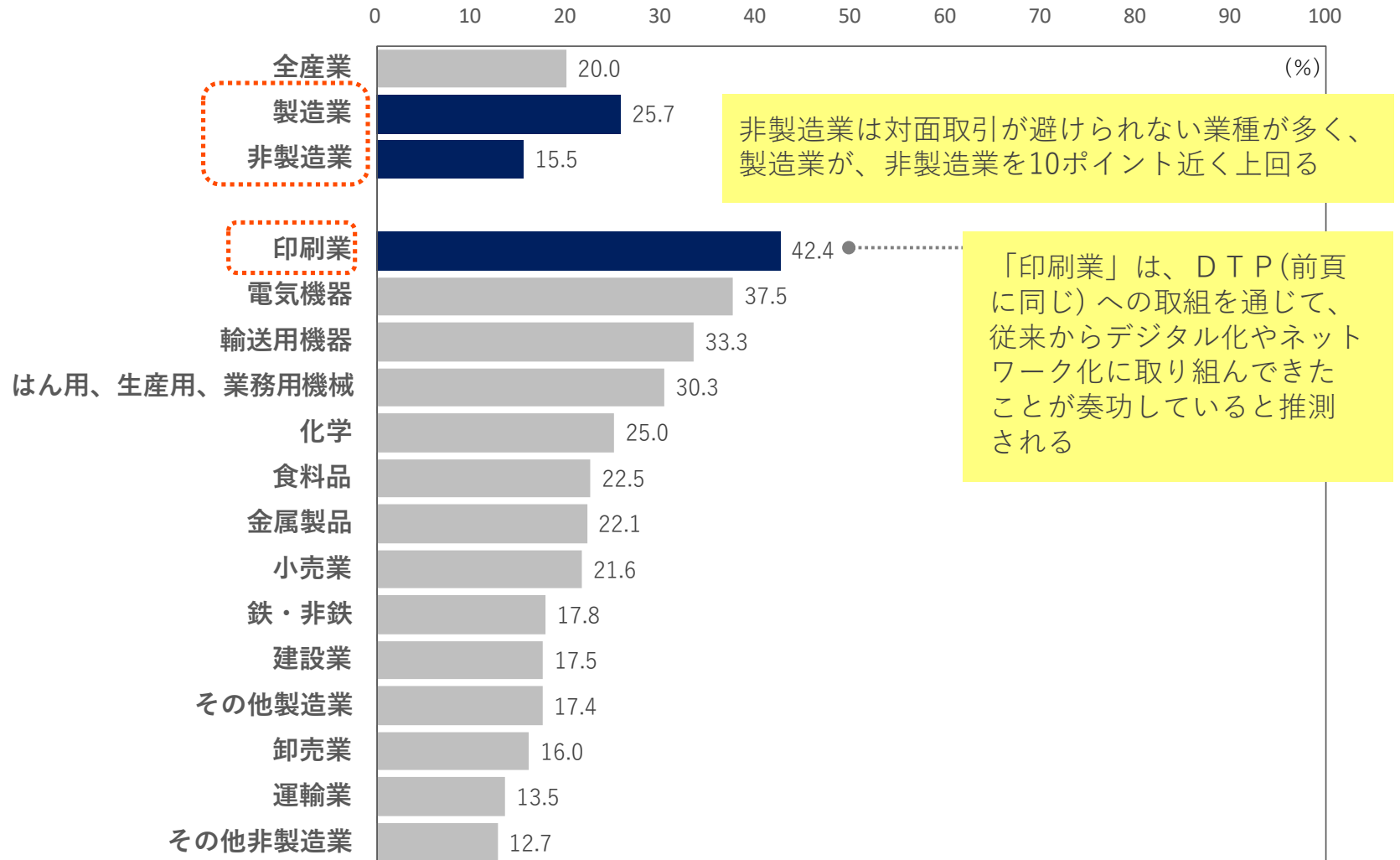
## ■ 【経営上の対策】 「社内でのテレワークや時差出勤の導入・拡大」





# <今月のトピックス 新型コロナウイルス感染症の経営への影響> 「対面取引のオンライン移行」は、製造業が一步リード

## ■ 【経営上の対策】 社外との対面取引やコミュニケーションをオンラインに移行



## 取引先の声（抜粋）＜経営上の対策＞

### キーワード／新事業展開

インスタグラム等を通じて、一部ではあるが、ビジネスが成立する事象が出てきている。この点含め、従来と違うビジネススタイル／モデルを模索中。（塗料卸、宮崎）

バイオマス発電の燃料、暗渠排水の疎水材、家畜の敷き藁などに使用できればと思い、ジャイアントミスカンサス（注：巨大ススキ）を試験的に500株植え付けしました。昨今、当地では農家戸数の減少による放棄耕地増加の対策として取り組み、循環できる地域を目指します。（運輸業、北海道）

外食等は自粛解除はしたものの、業績悪化による店舗縮小など、今後の販売状況が読みにくい。コロナによる経済悪化に伴う今後の生活スタイル等の変化に合う商品開発など進めていきたい。（食品加工販売、埼玉）

### キーワード／人員配置の見直し

部門的に10%UPもあるが、イベント輸送はコロナの影響で売上減。**社内でも勝ち負け**がはっきり分かれているため、**忙しい部署に人員配置**を目指す。ただし全体的に雇用が減ることからチャンスととらえ、雇用を注視しドライバーの確保、増車拡大をしていきたい。（運輸業、埼玉）

テレワークで業務遂行力の個人差が露呈してきている。今まではアナログで隠されてきたものができなくなり不協和音を生み出す前兆を感じている。能力に合わせた適正な人員配置、教育が必須になる。（情報サイト運営、静岡）

（注）文意を損なわない範囲で一部表現を変更している場合があります

## (参考) 業況判断DIの定義

<b>業況判断</b>	<p>各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p>
<b>DIの算出方法</b> <b>(Diffusion Index の略)</b>	<p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」          ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合（%）          DIの範囲▲100.0 ≦ 業況判断DI ≦ 100.0</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願い致します。



人を思う。未来を思う。

商工中金